

1 本日の議題

柏市における若者支援について

2 事務局からの提案

次期（令和5－6年）会議の主要なテーマの1つに「若者支援」を設定し、市の取り組み（新たに関係課による横断的な検討・協議体制の構築を予定）に対する意見や助言をいただきたいと考えるもの

3 提案理由

- 本市では、子ども・若者に係る施策などを組織横断的に取り組む体制が十分ではないこと
- 本市では、中高校生や若者の「居場所」として、児童センターやラコルタ柏などがあるが、量や支援の内容は十分ではないこと
- 中央教育審議会の答申では、子どもが個別最適な学びを進められるよう、これまで以上にその成長やつまづき、悩みに寄り添い、個々の興味や関心、意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することとしている。このことは学習以外の日常生活全般にも通じるものであり、個別の志向や特性に応じ、できるだけ多様な関りを通じて各々の成長のきっかけを得てもらうことが重要であり、そのため場がみつようであること

4 背景・課題

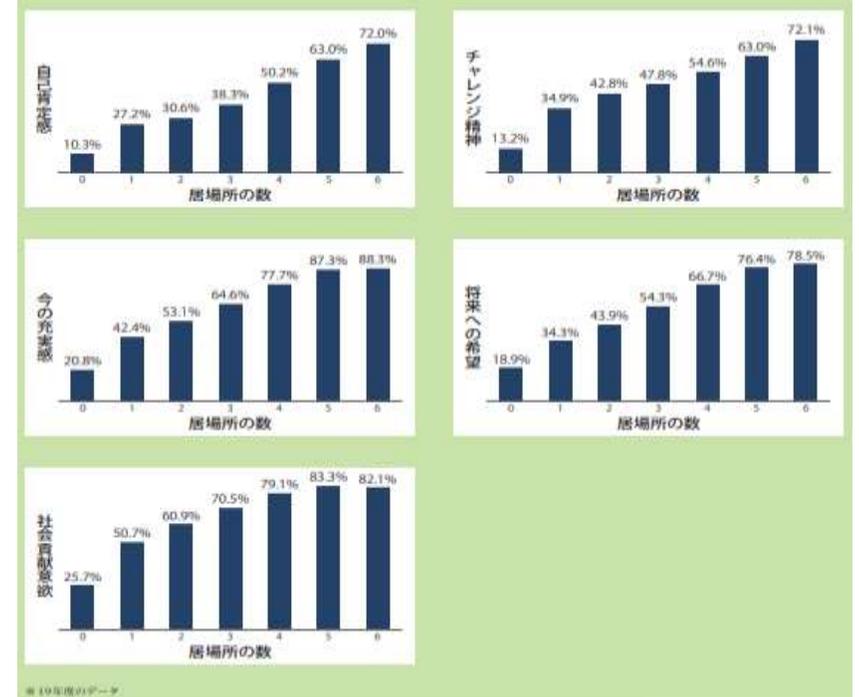
- 「子ども・若者育成支援推進法」では、市町村子ども・若者計画の作成や子ども・若者支援 地域協議会の設置に努めることとされている

- 千葉県では、現在、作成中の「第4次千葉県青少年総合プラン」(案)において、子ども・若者を取り巻く環境の変化と課題の多様化・複雑化を踏まえ、取り組みを充実することとしている

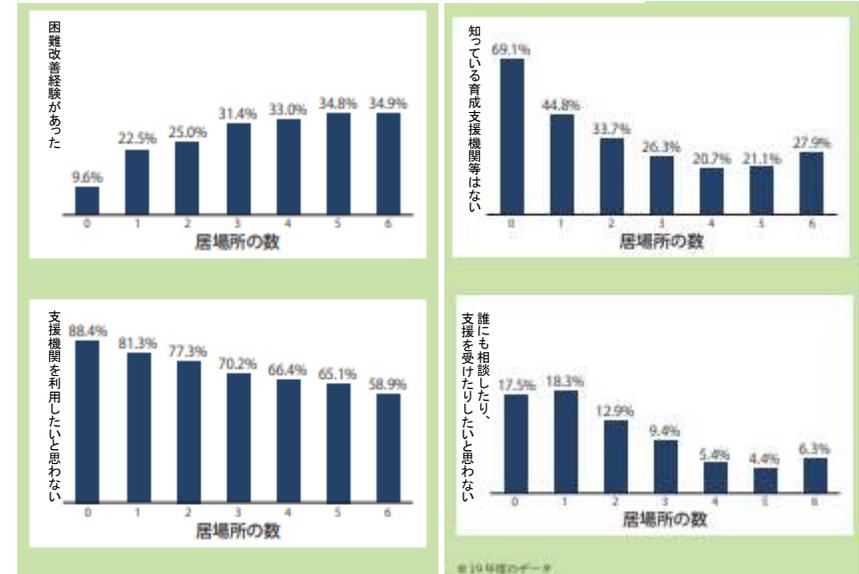
- 近隣市においても、市町村子ども・若者計画の作成や安心・安全に自分らしくいられる「居場所」の整備が進んでいる(千葉市, 松戸市, 流山市, 野田市など。「7 子若法の計画策定」, 「8 近隣市の動向」参照)

- 現代の子ども・若者は、中教審が令和3年に日本型学校教育から個別最適な学びへと方向転換したことに伴い、様々な人との協働による学びがより一層、重要となってきている。

参考1：居場所の数と自己認識の関係



参考2：居場所の数と困難改善・支援の関係



4 背景・課題

・日本型学校教育の時代に比べ、現代の子ども・若者の個性は様々である。ただし、中には集団の中で埋没してしまう子や自己有用感の低い子も多く見受けられるようになってきた。一人ひとりの良い点や可能性を引き出していくため、市として様々な人との感性や考え方等に触れ、刺激している仕掛けを作っていくことは、結果的に、子どもたちの充足度、幸福度に寄与していくものと考えられる。

・このため、本市における子ども・若者施策を組織横断的に取り組み「自分らしく、安心・安全に過ごせる居場所」や、「大人による緩やかな見守りから必要な相談ができる居場所」の整備等など、若者支援施策に取り組まなければならない

参考3：子供・若者育成支援推進大綱（概要版）

別添 参考データ

【自殺】児童生徒の自殺者数



【児童虐待】児童相談所における児童虐待相談対応件数



【いじめ】いじめの認知件数



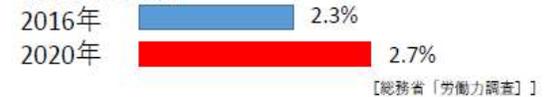
【不登校】小・中学校における不登校児童生徒数



【貧困】18歳未満の子供の相対的貧困率



【若年無業者】15～39歳人口に占める無業者の割合



【SNS被害】SNSに起因する事犯の被害児童数



【近所づきあい】現在の地域での付き合いの程度



参考：内閣府/子供・若者の意識調査：居場所の数と自己認識の高さは相関、居場所の数と困難改善経験が相関（参考1，2参照）
 内閣府/若者の生活に関する調査：15歳～38歳の若者で「広義のひきこもり」の推計人数は54.1万人（対象者の1.57%）
 ユニセフ/国際調査では精神的幸福度が38か国中37位
 内閣府/社会意識に関する世論調査：「近所づきあい」の低下（参考3参照）
 柏市における中学生の不登校生徒数 373人，不登校率3.64%（出典：令和3年度版柏市教育年報）

5 国の動向

- 「子ども・若者育成支援推進法」（以下「子若法」という）の「子供・若者育成支援推進大綱」（第3次）：全ての子供・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指して施策に取り組む
- 「こども家庭庁」の設置、「こども基本法」の施行：少子化社会対策/子ども・若者育成支援/子どもの貧困対策の3法律の大綱を一体的に作成

6 千葉県の動向

- 「第3次千葉県青少年総合プラン」（平成30年度～令和4年度）：「自己形成」、「社会参画」、「自立支援」等をキーワードに取り組む
- 次期「第4次千葉県青少年総合プラン」を作成中

7 子若法の計画策定（千葉県内）

- 千葉市：千葉市こどもプラン（R2年度～6年度）
- 松戸市：松戸市子ども総合プラン（R2年度～6年度）
- 佐倉市：佐倉市青少年育成計画（R2年度～7年度）

参考：政令指定都市18市で作成（内閣府：4年1月1現在）



松戸市青少年プラザ
(ひがまつテラス内)



のだしこども館
supported by
kikkoman

8 近隣市の子ども・若者施設の動向 ※参考4参照

- 松戸市：若者の居場所(現在5箇所)を整備
(青少年プラザ, アティーズ元山など)
- 流山市：図書館, 児童館の複合施設を整備
(南流山地域図書館・南流山児童センターなど)
- 野田市：子育て支援や地域交流の拠点を整備
(のだしこども館 supported by kikkomanなど)

